

## 法人施設活動報告：相談室あすなろ

衣笠障害者グループホーム  
相談室あすなろ



### 障害児の増加 子

室長：岸川江利

高齢化率が上がっており高齢者が増えているということは社会の中での周知のことですが、実は「障害児」が増えているということも事実です。

当相談室ではサービス等利用計画書の作成が120名を超えておりますが、それでも希望者全てに対応できない状況にあります。

横須賀市全体としても、人口が減少しても障害者が増えているということに対する施策を検討していかなければならない状況にあり、その中でも障害児者の相談支援体制も改めて見直す必要があると感じています。

この時期ですので、支援学校からの卒業生を3名、相談室「あすなろ」で温かく迎える予定です。学校卒業して、社会で安心して活躍ができるようにしっかりと支えていきたいと思っております。

来年度は障害のある方が地域で暮らしやすくなるための試みを幾つか実践していく予定です。地域の皆様のご協力を引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 法人施設活動報告：あすなろの家

知的障害者グループホーム

第一（小矢部）・第二（小矢部）  
第三（小矢部）・第五（若宮台）  
第八（太田和）



### 第3 あすなろの家の新年会

第3 あすなろの家では、元旦にお節料理をお重をご用意し、宴会を行いました。毎年恒例のご利用者からの今年の抱負をお一人ずつ語って頂きました。

「仕事を休まず頑張る」、「仲間と仲良く過ごす」、「運動して健康に過ごす」など、前向きな抱負が沢山出ていました。最年長のご入居者様のご挨拶で乾杯し、食事が始まりました。楽しく迎える事が出来ました。



## 法人施設活動報告：あすなろ学苑

就労継続支援B型事業



### 気持ちを伝えることの大切さ

苑生が出勤してから作業開始までの約40分～60分の間に、苑生から呼び止められる事が多くあります。エプロンのボタンが取れたからつけて、大切なCDが入った袋が見当たらない、靴ひもが取れて結べない、作業に使用するエプロンを忘れちゃった。〇〇さんがぶっかってきたのに謝ってくれない、私今日何時から歯医者さんかな？等内容は多岐に及びます。

1人1人と向き合い、対応している途中に、私も僕もと呼びかけられるので、順番に対応するので少し時間下さいね。〇〇さんは、2番目ですと返答したり、他の職員に対応を交代してもらったり等、職員は対応に追われています。中には、グループホームや家庭の事、病院の事等、苑生活から離れた部分の話も寄せられる為、ご本人から聞き取りし、グループホームや家庭に電話で状況確認をしないといけない事もありますが、全般的に自分の意志を表示できる頻度が増えています。

次のステップとして、相談できる人を広げていけるといいなと考えているところで